

# てんぎょう 轉教

2016 6 JUNE

平成 28 年 6 月 1 日発行  
編集兼 発行人 山本 久男  
発行所 佛立本旨講 妙應寺  
〒 113-0021  
東京都文京区本駒込 6-6-11  
☎ 03-5319-3490  
FAX 03-5319-3491



ご奉公のこころ

## 四番町仮道場

水谷 信洋

平成二十四年六月九日の朝、豊島連合の甲御講に向かう車中で電話をもらい、四番町の存在を初めて知らされました。「お寺がお困りなら使ってください」というお申し出をいただき、早速

その日の夕刻に事務局長、次長とともに現地を訪ねました。マンションとも思えない、まるでお寺のために用意したような広い間取りの物件でした。目黒本堂の明け渡し期

日が迫るこの時期、何処に行けばよいのかまだ目当めあてもない時でしたので、渡りに舟とは正にこのことと思ひ、御法様は本当に困った時には必ずお救い下さるものと改めて感得させてもらいました。六月末にはそこを借りる賃貸ちんたい契約書けいやくしょを交わし、七月二十六日から四番町での朝の勤行ごんぎょうが開始されたのです。こうして、裁判所の決定が下されてからわずか二か月後には、今まで通りの朝参詣が始まったのでした。

六月九日以前には、親会場を連合ごとに用意しよう、いや、みんなが顔を合わせる場所がほしい、塔婆とうばの建立はどうするか等と話し合っていたもので

す。それが四番町の出現によって、一瞬ですべての心配が解決したのでした。これはほんの数年前のことですが、「そういえばそんなこともあったね」と言われるような昔話にいつの間にかなってしまうました。でも、忘れてはならない佛立本旨講足跡的一幕です。もう一度振りかえってみましょう。

平成四年に決意された日尚上人による開講本旨再興かいこうほんしさいこうの誓願せいがんから全てが始まりました。平成十五年四月に日尚上人はご遷化せんげになりましたが、その思いを形にしようとの願いから実現した平成十八年の佛立本旨講創立式典ぶつりゅうほんしさいこうそうりつしきてん、日尚上人靈廟れいびやうを本旨講の精神的支柱にし

ようとの願いを形にした平成十九年の  
六角堂建立、そして四番町の仮道場  
のご奉公。私たちの歩みはいつも日尚  
上人に見守られています。本駒込の新  
本堂にも日尚上人がいつもおいでにな  
り、必ずや見守っていて下さるに違  
ありません。

一方で、本駒込の新本堂は既存の住  
宅地にあります。住宅地にお寺が引  
越してくるなど普通はあり得ません。  
四番町は賃貸で借りたものですから大  
家さんが承知していればそれで良か  
つたのですが、今度はそう簡単ではあり  
ません。地元にも上手く溶け込むため  
にも周囲の方々への配慮が必要になり

ます。そこが、佛立本旨講御弘通の第  
一步となるでしょう。

今までに妙法御題目に縁のなかった  
場所に本尊を祀るのでから、様々な  
怨嫉おんしつが起るのはむしろ当然のこと  
です。皆さんの協力で、土地の有縁無縁  
と近隣各家先祖代々の回向をつづけ、  
この地がこれから百年を超えて「佛立  
本旨講妙應寺弘通発展」につながる場  
所となるよう祈りつづけましょう。

本年八月には、恩師日晨上人の御  
三十三回忌をお迎えします。

# ごあいさつ

## 事務局局長 山本久男



ありがとうございます。

この度、事務局局長を拝命させていただきました、山本久男と申します。よろしくお願いいたします。

私の父山本泉周師は、晩年乗泉寺で得度させていただき、平成13年に亡くなりました。その間ご信者の皆様には、大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。その父のご奉公精神

の一部でもお役にたちたいという思いで、平成13年に決定し、帰属させていただきました。

この度、本駒込に新本堂建立のご利益をいただき、落ち着いてご奉公させていただける環境が整いました。

佛立本旨講弘通隆昌発展、広宣流布のご奉公をそれぞれのお立場で、精一杯させていただくではありませんか、微力では

ありますが、その先頭に立たせていただける、この身に感謝いたして居ります。

「お寺から何かをしていただくのではなく、信者が何をさせていただけるかを考えて」日在導師ご教導の元、信徒一丸と成りご奉公に邁進させていただきます。よろしくお願いたします。

よろしくお願いたします。

# 待ちに待った、 私たちの新本堂

5月5日、皆さんの感想を伺いました



「名古屋の母にも見せた  
いので、写真を撮って送りました。」(入間教区 Sさん)  
「御本尊さま、御尊像さまに久しぶりにお会いできて大感動です。」(中里教区 Sさん)  
「今日、最初の詰め助行のご奉公でしたのですごい緊張したのですが、いまはうれしくて達成感でいっぱいです。」(さがみ原教区 Sさん)  
「もう91歳ですから待ち遠しかったです。新しい本堂に入ったと

きに涙が出そうな感激でした。」(荏原教区 Sさん)  
「見たことのないような御本尊の周りの赤い四本の柱みたいな斬新なデザインですね。」(鷹番教区 Nさん)  
「広くて、ここに入ったとたんに何かスーッとした感じがしました。」(Sさん)  
「待ちに待った信仰の拠点ができてうれしい。」(千葉中央教区 Kさん)  
「すごくキレイで御看経がしやすい環境です。」(小山教区 Mさん)  
「新しいところでやる気が出てきます。」(Mさん)

# 6月のご奉公のすすめ

正法を護持するお寺に参つ

て、思いをこめて御看經に励め

ば、必ずご利益が頂けます。新

本堂弘通発展の思いをもって、

教区班内の巡回助行や育成助行

に励みましょう。

の祈願もお忘れなく。

・「開講本旨再興祈願」

朝参詣週間

1日(水)から7日(火)

・「開講本旨再興祈願」口唱会

19日(日) 午前9時半

## 一、随喜轉教について

「佛立本旨講 弘通発展 開講本旨

再興」の祈願をかけ、朝夕御宝

前に言上させて頂きましょう。

教化誓願・正法帰入・信行相続

## 二、信徒講習会

平成28年度第一回信徒講習会を

左記の通り開催いたします。

テーマは「御持念誦文」と「百

日参詣体操」です。門祖聖人の

御意を知り、次世代の方々に佛

## 6月の寺内行事予定表

1日～7日 開講本旨再興祈願

朝参詣週間

1日(日) 開講本旨再興祈願総講

午前10時半

4日(土) 運営会議

午前9時半

11日(土) 連合幹事会

午前9時半

〃 後続者育成連絡会

午前10時半

12日(日) 団参・聞泉寺(三島)

開導会(担当第一地区)

13日(月) 高祖大士御命日総講

午前10時半

17日(火) 開導聖人御命日総講

午前10時半

立本旨講の教えの要点を伝えられるようすすんで参加させて頂きますよう。

6月14日(火) 午前9時半

6月18日(土) 午前9時半

6月26日(日) 午前9時半

### 三、三島聞泉寺団参

6月12日(日)は、三島聞泉寺開導会の団参です。参詣当番は第一地区です。同志寺院のご弘通の応援となる大切なご奉公です。大勢で参詣させて頂きましよう。

### 四、7月の諸行事

・夏期参詣は、7月1日(金)から7月31日(日)迄です。家族や知人そして次世代の方々

が新本堂にお参詣出来るよう將引しましよう。

・開導会は、7月17日(日)に奉修されます。新本堂での初めての大会だいえです。今月のうちから班内一軒一軒を助行して開導聖人の為の報恩参詣の大事を伝えましよう。開導会奉修費・お花料・御供米料・参詣予定者数の締切は7月1日(金)です。

### 五、夏季錬成会について

・「夏季錬成会」は、地区内信徒の親睦とご弘通意欲の高揚と信行面の充実となるように、そして夏期参詣に支障のないよう地区毎に計画を立てて下さい。

19日(日) 開講本旨再興祈願

口唱会 午前9時半

25日(水) 門祖聖人御命日総講

午前10時半

正副教区長会午後1時

(追記) 5月の正副教区長会は

25日に開催されます



三島聞泉寺

# 日尚上人をお偲びして



開講本旨再興日尚上人  
祥月御命日法要が仮本堂  
で、佛立本旨講創立記念  
式典が事教院六角堂で奉  
修され、四番町最後の大  
きな法要として3百人の  
お参詣をいただきました。



六角堂靈廟で奉告文を  
言上される日在導師

御導師による六角堂奉告文  
(要旨) は次の通りです。

① 開講本旨再興日尚上人御  
祥月法要に際し、六角堂御霊

前に於いて謹んで平成二十七  
年度妙應寺御奉公の概要を  
奉告申し上げます。まず一番  
にお知らせすべきは、いよいよ  
よ本駒込の新本堂が完成し四  
番町仮道場から引越しをする  
運びとなったことです。思

い返せば、平成二十五年二月  
二十四日に奉修された門祖日  
隆大聖人五百五十回御遠諱に  
「新本堂建立決起大会」を開  
催し、その年の十月にこの本  
駒込の物件に巡り会うことが  
出来ました。それ以後、予想  
外の困難や妨害などがありま  
したが、辛くもそれらの諸難  
を乗り越え、昨平成二十七年  
九月十五日に土地建物の取得  
手続きを完了させ、ようやく、  
新本堂完成にこぎ着けること  
が出来たものです。

② 本年八月には、恩師日晨  
上人の御三十三回忌をお迎え



します。本門佛立講の法華宗  
 からの独立、また、宗制改正  
 を行って宗門の近代化を推し  
 進められた日晨上人が、旧宗  
 門の為体ていたらくをどのようにご覧に  
 なっておられるでしょうか。  
 宗門の積立金を株式投資に流  
 用して私腹を肥やす僧侶、そ  
 の事実を覆い隠す為ために是正ぜせい  
 促うながす講有こうゆうを偽造書類ぎぞうしるいまで作成  
 して解任する。このような宗  
 門に開導聖人の開講本旨が守  
 れるはずがありません。日尚  
 上人が開講本旨再興を願って  
 佛立本旨講創立という進路を  
 とられたことを、日晨上人は  
 必ずやお喜び下さっておられ

ることでありましょう。われ  
 われ日尚上人門下教講一同は、  
 「佛立本旨講」の名のもとに、  
 日歆上人、日晨上人、日尚上  
 人と代々受け継がれた開講本  
 旨信仰を後世に守り伝えてゆ  
 く所存です。新本堂で新たな  
 弘通ご奉公に一步を踏み出す  
 われら末弟の微意びいをご照覧しょうらん  
 ださり、一層のご冥加みょうがを賜たまわら  
 んことを請こい願ねがい奉告ほうことさせ  
 ていただきます。

平成二十八年四月十七日

佛立本旨講妙應寺住職

日在 合掌

# お祖師様の立教開宗に報恩



恒例の春の五時間口唱会が開

催されました。朝9時半から午後2時半までの5時間、御信者さんの熱心な口唱が四番町の仮

道場に響き渡りました。

この写真のように午後1時40分ごろでもこのように多くの御信者さんが口唱に励んでおられました。

港教区のKさんは、「数年前、御看経に集中していると、5時間目にフワっとオーラのような不思議なものを感じました。それ以来、毎回参加しておりま

す。おかげさまで、体調もよく、元気で帰宅できました。」と長時間口唱による御利益の喜びを語っていただきました。



## 平成28年4月の寺内行事報告

1日～7日 開講本旨再興・

新本堂建立祈願朝参詣週間

1日(金) 開講本旨再興祈願総講午前10時半

地区・連合・教区・事務局辞令伝達式並びに平成28年度ご奉公の誓いを併修

2日(土) 開講本旨再興日尚上人祥月御命日法要奉修費奉納・報恩塔婆申込み、参詣予定者数締切り

9日(土) 運営会議午前9時半

13日(水) 高祖大土御命日総講を午前10時半から奉修

16日(土) 連合幹事会を午前9

## 本駒込の思い出

小山教区 Nさん

私は、新本堂から歩いて15分程のところで生まれ育ちました。庭には父が大きな物置や深い池、浅いひょうたん池を作り、物干しを兼ねたイス付きのデッキを作ってくれました。

小学生の頃には、近くに防空壕や、焼け跡に草ぼうぼうの広場など遊び場がいっぱいありました。戦後で日本中が食べるのに精いっぱい時代でしたが、遊びがたっぷりの楽しい子供時代の思い出が詰まっている本駒込でした。今は様変わりしてい



生まれ故郷のベランダにて弟さんと  
(当時七歳のNさん)

ますが、当時の面影もたくさん残っています。

ご信者さんの中には、六義園の前の中・高校に通い新本堂を楽しみにしておられる方、仕事ですぐ近くに来ている方など、新本堂へお参詣出来るのを楽しみにしていると聞きして、うれしい思い出いっぱいです。

時半から開催

// 後続者育成連絡会を午前10時半から開催

17日(日) 開講本旨再興日尚上人祥月御命日法要を午前9時半より奉修 佛立本旨講創立記念式典・開導聖人御命日総講に併修 事教院六角堂にて午後12時半より奉修

24日(日) 立教開宗記念5時間口唱会を午前9時半から奉修  
25日(月) 門祖聖人御命日総講を午前10時半から奉修

// 正副教区長会を午前1時より開催

## 諸願成就のお守り

福岡から、こちらに戻って丸9年になります。

色々考えて、娘が高校入学、息子が中学入学時に東京に戻られたら良いなと思い、娘が中3になった時、担任の先生とも相談して、遠距離受験することにしました。

公立高校は、福岡と神奈川では、システムが全然違います。必ず来春、神奈川に住むという約束の元、それを証明する書類

## 品川連合Wさん

を、決められた日時に提出して、証明書をもらわなければ、受験できません。

その後、受験の為に、3回親子で往復し、その間に、姉に結果を見に行ってもらい、お陰さまで、第一希望の公立高校に合格しました。

そして、3月を迎える頃、いよいよ夫の人事異動をドキドキしながら待ち、東京勤務の知らせを受けた時は、ご法様のお陰

を心からありがたく実感いたしました。

転居費用も会社でみて頂けるので、その時は本当に助かりました。

これからも、色々な苦労や困難があると思いますが、ご宝前への感謝を忘れずに乗り越えて行こうと思います。

又、今年度より、教区长に任命され、全く頼りない教区长で、不安で一杯ですが、出来る限りご奉公を頑張ります。ご指導よろしくお願ひします。

■私のよろこび

## ついに家にもやって来た

かながわ南教区 Sさん

家の電話に息子を装った電話がかかってきました。夜7時半頃、私が出ると「おれだけど」と言うのですが、息子二人も主人も、普段は携帯電話でお互いにかけるようにしていますので、すぐ、おかしいなと思います、主人に代わり対応してもらいました。その間に、私は、携帯電話で本物の息子へ電話をかけ、いつもなかなか出てくれないのに、この日に限ってすぐに電話

に出ましたので安心しました。

主人は、偽の息子と話をし、「何で家の電話にかけてきたの？」と聞いたら、それには答えず、「お昼に何か電話がかかってこなかったか？」といってきたそうです。主人は、「お昼は居ないでしょう」と言い、切りました。

それだけだったのですが、この電話がかかってきた時が、実に良いタイミングでした。主人

がすぐ傍に居り、また、直道の声は良く覚えていました。

でも、私はこういう電話がかかってきても自分は大丈夫と思っていました。が、ぜんぜん大丈夫ではなかったです。すぐく動揺しました。電話を切った後、怖くて、ドキドキ。これが、一人でいた時だったらと思うと本当にいつもお守り頂いていると感じております。

これからも、油断することなく家族みんなで、御信心に精進させて頂きます。

皆様も、どうぞ人ごとだと思わず、お気をつけください。

(編集により原文の一部を割愛しました)

## 五人の子らの信行相続を目指し

渋谷教区のIさんの家で、お助行がありました。お父さんのお手製の覆面で毎日、五人のきょうだいがお給仕を楽しくお手伝い。一人一人の名前が書かれた功德箱には、それぞれが小遣のなかからしています。そのお蔭か、きょうだい仲良く、天真爛漫に育って、下級生の面倒をよくみると、先生から褒められました。無邪気な子供らしいご信心の様子が、よく伝わって来て微笑ましいです。

又、このお助行に参加された

Gさんですが、自宅のお戒壇が古くなったので、よそから譲りうける話も有ったのですが、お祖母さんの思いが籠っているので、なおして母と一緒にお給仕、御看経に励みたいといっています。現在、京子さんは身体が調子も良くなり、お勤めにも出られるように成り、今日のお助行には、喜んで参加してくれました。

この様に次世代の方々が御利益を頂いて、祖父母や両親の信心の思い出を優しく受け継ぐ姿

を見て、信心の真心は朽ちることはないと感じました。

都教区坂中澄江さん



# ★こどもたちの会★

## ご祈願も立てたら！！

<p>「友達が学校に来られますように」って書けば良いの本!</p> <p>そうそう! OKよ~!!</p>	<p>ハア~... ただいま...</p> <p>アラアラ... ため息ついて、どうしたの?</p>
<p>そしてお願いしよう! 南〇経~!!</p>	<p>それが、中学に入ってから仲良くなった子が、だんだん学校に来なくなっちゃって...</p> <p>それは、しんがいに自己ねえ...</p>
<p>あれ~!? 何か良い願してるね!</p> <p>お兄さん! こんにちは~!!</p> <p>後日</p>	<p>は、で、き、る、ん、だ、け、ど、!</p> <p>いっしょに一緒に出掛けたり!</p> <p>映画を観に行ったり!</p> <p>学校以外では、</p>
<p>わあ!それは素晴らしいご利益を頂いた本!</p> <p>毎にすすめられてご祈願を書いたら、友達が学校に来られる様になったんです!!</p>	<p>なかなか学校だけは来られなくて...</p> <p>そうだったのね...</p>
<p>そうだね!! 頑張れ!!</p> <p>これから困った事があたら、ご法様にお祈願いしてみます~!!</p>	<p>よし! そうだね! やってみる!!</p> <p>それなら、ご祈願を立ててご法様におまかせしてみたら?</p>

